



学 園 通

練馬区立大泉学園中学校

平成 29 年 10 月 30 日 発行 校長 晴佐久和彦

心に響くものを大切に

秋の長雨に続き季節外れともいえる台風 21 号の風雨に見舞われ、そしてこの週明けもまた台風の接近となっていますが、その合間には爽やかな秋晴れの日も増えてきました。秋の深まりとともに本校でも様々な行事が続いているところです。

先日の 17 日、第 36 回合唱コンクールを練馬文化センター大ホールにて開催致しました。早朝より多くのご来賓、保護者の方々が来場され、生徒の歌声を聴いてくださり本当に有難うございました。金賞等の結果につきましては次頁以降の記事をご参照ください。



私にとっては学園中で初めての合唱コンクールとなったわけですが、準備の期間をはじめ、様々な苦勞、そして「思い」を感じた行事でした。このことは本校職員そして生徒の皆さんも同じように感じたのではないのでしょうか。まず練習段階では音楽の先生不在の中、はじめは自分達で工夫して練習することとなり、後半には小学校の音楽科の先生、区内で以前音楽を教えられていた先生、大学院で学ばれている先生をお招きし、ご指導いただきながら曲を仕上げていきました。子ども達にとっては日によって違う先生から学んでいくという難しさはあったと思いますが、「少しでも良い合唱を」という熱意で、こうした条件を克服してよく練習しました。ご指導くださった先生方には、この場をお借りして、心より感謝いたします。

そして当日。本番で練習したことを生かして力強く歌えたクラスがあり、一方で持てる力を出し切れなかったクラスもあったかもしれません。同様に保護者の皆様からのアンケートも感動を味わえたというご感想とともに、もう一頑張りしてほしいという思いを綴った回答も見受けられました。学校として、次年度に向けて真摯に受け止めてまいります。

さて、今年の合唱コンクールは終わりましたが、これからはこの行事でそれぞれが学んだことをどう生かしていくかが問われてきます。自分達の合唱で充実感が得られたならばそれは大きな自信となります。また、他の合唱を聴いて「すごくまとまりがあるな」とか「とてもきれいに歌っていて感動した」と感じた場面も多くあったと思います。今回のコンクールから「練習を積み重ねていけば必ず成果を出せる」ということを学べたのではないのでしょうか。合唱に限らず「班・クラス・学年のまとまりを作る」といった点で、ぜひ今回学び、感じたことをこれからの学校生活に生かして行ってください。

今週は 11 月に入ります。9 日（木）の 2 年生校外学習（都内各施設の見学）、10 日（金）の 1 年生校外学習（区内を中心とした各施設見学）に続いて、11 日（土）の学校公開日には、ロンドンパラリンピック金メダルの秋山里奈さん（競泳 視覚障がい部）をお迎えして講演会を本校で開催致します。ぜひ多くの皆様にご来校いただければ幸いです。

第36回 合唱コンクールを終えて

文化的行事委員会

今年も練馬文化センターにて、第36回合唱コンクールが10月17日(火)に開催されました。今年度の合唱コンクールは、生徒の皆さんの往復方法や、「最優秀賞」「優秀賞」から「金賞」「銀賞」への変更、賞の中に伴奏者賞が加わったことなど、昨年度までと変わったことが多く、生徒、教員共に戸惑いも多かったように思います。

そんな中でしたが学園中の生徒の皆さんは、実行委員やリーダーを中心にクラス練習に取り組みました。特に3年生は、10月2日～4日に修学旅行があり、練習を進めるにあたり大変困難な状況でしたが、各クラスとも担任の先生に頼りきることなく熱心に練習に取り組めたのは、本当に立派です。そして本番の舞台では、どのクラスも見事な歌声を大ホールに響かせ、聴いている人達に感動を与えてくれました。

合唱は、クラスの団結が重要になります。男女を問わずお互いに話し合ったり、意見を出し合えるような良い雰囲気を作ることが出来るかが「鍵」となります。

今回の合唱コンクールで得た、一体感や達成感を一人一人の宝物にしながら、残り5ヶ月、クラスで過ごす日々を大切にしたいと思います。



生徒 実行委員会委員長 嶋村 光騎

僕は、合唱コンクール実行委員長になった時、正直不安でした。しかし、なったからにはスローガンの「～天歌夢奏～ 声をひとつに さあ歌おう」のもと、学園中生全員の声がひとつになるように、また、その声をきっかけにクラスや学年の絆がより深まるような合唱コンクールにしたいと思っていました。皆さんが協力してくれたおかげで、素晴らしい合唱コンクールにすることができました。ありがとうございました。

保護者アンケートより

兄の時から5年目になります。1年に1度、学年が変わっても同じ曲を聴くと、とても懐かしさがこみ上げます。毎年1年生は、男子の声があまり出ず、物足りなさを感じていましたが、今年の1年生は男女とも良く声が出ていて、素晴らしいハーモニーでした。足の開き方、体の向きの変え方など、入退場の動作も素晴らしかったです。1年生が素晴らしい分、2年生では物足りなさを感じました。課題曲の難しさもあるのか、どのクラスも自由曲の方が良く感じました。来年も、また成長した合唱が聴けるのを楽しみにしています。先生方、PTAの役員の方さま、いつもありがとうございます。

孫の最後のコンクールに感動しました。賞をいただき一生の思い出の曲になることと思います。また、吹奏楽でも3年間、本当に良く頑張ったことと思い、その間に体験した苦勞、喜びはこれからの人生にきっと役立つことと思います。孫の晴れ姿に胸があつくなり、皆様方に感謝で一杯です。

～合唱コンクール結果～

1年生の部 課題曲「夢の世界を」
 金賞 C組 自由曲「明日へ」
 銀賞 B組 自由曲「行き先」



2年生の部 課題曲「時の旅人」
 金賞 D組 自由曲「あなたへ」
 銀賞 B組 自由曲「YELL」



3年生の部 課題曲「大地讃頌」
 金賞 C組 自由曲「はじまり」
 銀賞 A組 自由曲「証」

指揮者賞

1年 清水 実希 「行き先」
 2年 福田 奈々 「道」
 3年 瀧澤 正太郎 「証」

伴奏者賞

1年 新留 美桜 「行き先」
 2年 玉腰 紬 「時の旅人」「YELL」
 3年 木村 美紅 「はじまり」



修学旅行を終えて

3学年 主任 森山 滋



夏休み前から準備が始まった修学旅行。事前学習では東京にない文化に大いに興味関心を抱き、様々な視点から学習を深めることができました。実行委員中心に計画を立てたこの修学旅行は、最後の宿泊行事と言うこともあり、出発日を心待ちにした生徒がほとんどでした。

1日目は奈良。東大寺の毘盧遮那仏や法隆寺の五重塔にはその大きさに圧倒され、細部の意味に感銘を受けました。また、薬師寺のお坊さんの説法は、生徒の心をつかむ巧みな話術が忘れられません。

2日目は体験学習と行動班行動です。事前に希望した体験場所で京都の伝統に触れました。そこでは京都の方々の「京都愛」を深く感じたようです。班行動では、計画通りにできた班。予定を変



体験学習で七宝焼きに挑戦中

更した班。先生方の助けを必要とした班。どの班も、「自ら考え、主体的に判断する。」という総合的な学習の目標を達することができました。

3日目はタクシー行動です。タクシーの運転手と共に半日を過ごしました。ここでは運転手の方の豊富な知識に誰もが感心しました。そして鹿苑寺金閣の美しさに感動しました。

事後アンケートには、修学旅行での様々な思い出が綴られ、最後の宿泊行事は忘れられないものになったと感じました。

部活動の主な大会結果と記録

9～10月にかけて、総合体育大会（新人大会）が行われました。練習試合とは違った緊張感の中、力を出し切れずに悔しい思いをした部もありました。各部の大会結果等をお知らせします。

☆野球部

シード権決め大会 vs 開二中 7-5○ vs 早大学院 3-10● 新人戦 1回戦 vs 開三中 5-6●

☆バスケットボール部

新人戦 〈女子〉 vs 南が丘中 52-35○ vs 石東中 32-70● 〈男子〉 vs 光二中 34-60●

☆サッカー部

新人戦 予選L vs 練東中 3-0○ vs 谷原中 4-1○ vs 都立大泉中 0-2● 予選第1位
決勝T vs 早大学院 0-1●

☆女子バレーボール部

新人戦 予選L vs 北町中 2-0○ vs 桜学園 2-0○ vs 三原台中 1-2● 予選第2位
決勝T vs 光一・旭丘中 2-0○ vs 関中 2-0○ vs 八坂中 0-2● 練馬区第10位

☆陸上競技部

第56回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会

共通女子 1500m 寺田 晴香 6位 (4分44秒30)

第63回全日本中学校通信陸上競技大会東京都大会

共通女子 1500m 寺田 晴香 5位 (4分41秒46)

第29回東京ジュニア陸上競技大会 女子 A200m 松永 莉怜 7位

第70回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

1年女子 100mH 橋本 若奈 9位 共通女子 1500m 寺田 晴香 10位

第55回練馬区中学校生徒総合体育大会（陸上競技大会）

3年男子 110mH 成田 知泰 3位

共通女子 1500m 寺田 晴香 優勝 (4分53秒19 大会新記録)

1年女子 100mH 橋本 若奈 2位 2年女子 100mH 森 友那 3位

共通女子 200m 松永 莉怜 3位

共通女子 4×100mR 千田 美波・木村 美紅・森 友那・松永 莉怜 3位

女子 総合 4位

